

大鹿HeatBeat

第 24 回 ~ 大鹿の人々 ~

紙谷 正 さん (85)



肥だめを運ぶ紙谷さん。昔の生活ぶりを綴った本などで写真をみるまででしたがついに本物を見ることができました。かつては畑にまいていた糞尿ですが現在は衛生面からあまりまくことはしなくなりました。紙谷さんも現在は裏山に埋めるようにしているということです。3人家族で年3回の作業。かつては貴重な肥料でした

そろそろ「もみすり」も始まります。今年の取れ高は史上2位を誇る豊作。今から新米のお味が楽しみです。紙谷さんの新米は11月より発送しています。ご予約は5キロから2735円にて承り中。ご希望の方はお申し付けください。

kumi.maejima@gmail.comまで



松平神社のお祭りは毎年10月の第三週の日曜日に行われています。大鹿歌舞伎もいいですが大鹿村の歴史に触れるといった観点では、このお祭りもまた一興なのではないでしょうか。

大鹿村保育園の裏の林を行くと松平神社(まつだいらじんじゃ)があります。実は前島家の御先祖様 松平右馬允が室町時代に創建されたものです。現在の建物は寛政11年1799年のものです。松平神社は御祭神とし応神(おうじん)天皇、天照皇大神、イザナギノミコト、イザナミノミコトが祭られています。特に四体の神像(村指定文化財)は神仏習合思想をあらわし、愛媛県大三島神社の神像によく似ているということです。現在、集会所として使われている境内の建物はS30年代まで歌舞伎の舞台として使われていました。初詣には村民を中心にお参りする方も少なくない松平神社です。

そばの収穫風景が村内そこかしこで見受けられるのが10月初旬です。そばの栽培は近年、優秀な換金農作物です。大鹿村のソバは一時期話題沸騰したこともあり今でも高値で取引されます。信州の新そばは場合12月に出荷されます。



アケビコノハ

大鹿スケッチ

2011
神無月
前志満くみ
第28号

「第8回ヒロシマ賞」(現代美術を通じ世界平和に貢献した人に贈られます)を受賞したオノ・ヨーコさんのことばに感化され、広島現代美術館を訪れました。奇しくも3・11からちょうど7カ月目の10月11日、以前から訪ねたかった広島の地を踏み、原爆ドーム、広島平和記念資料館、平和公園など巡る中で改めて近代史における日本の大きな出来事をパラレルワールドで感じました。S20年8月、核によって大きな被害を受けた日本がその後、核をどのように利用してきたのか。戦後生まれの私たちは特に知る必要性があり、それを知った上で今後のエネルギーの事を考えることが必要だと思いました。戦後の問題はまだまだ続きます。

読まれた方も多いと思いますが以下、朝日新聞2011年7月31日のオノ・ヨーコさんのコメントをシェアします。3・11の東日本大震災のニュースはニューヨークで知りました。悔しい、悔しい。だって福島原発事故は広島・ナガサキに続く国内の核の災難でしょう。今年の9月11日は米国同時多発輝から10年。そして東日本大震災からちょうど半年になるわね。私、つながっていると思うの。私たちの精神を揺り動かしたという意味では。今は、文句を言って時間を無駄にしている場合じゃない。ほら、あなたみたいに「だめ、だめ」と言うから、みんなが「だめかな」と思うのです。私たちはおぼれているのですよ。懸命に水の上に出て「はっ」と息をしなければ、一人ひとりが、自分にできることを精いっぱいして、今こそ「希望の路」に入らなければならないのです。だから、今回の展覧会では、若い頃のような概念的な表現ではなく、はっきり「こういうことをして下さい」「こういうこともありますよ」と表現しました。今は深刻に考えてもしょうがない。笑いでも交えて生活していれば、何か突然変異じみたことが起きるんじゃないかしら。私はよく楽天主家だと言われますが、後ろ向きエネルギーでも、エネルギーには違いありません。それを前向きエネルギーに変えて世界に発信すればいいのです。

「笑いでも交えて…」共感します。広島市現代美術館で行われていたオノ・ヨーコ展は「希望の路」というテーマで全13の作品が観ることができました。日頃は「現代アート」は倦厭しがちですが、なかなかいい展示でした。オノ・ヨーコさんがおっしゃる「笑い」が引きだされるようなニュアンスが作品に込められていて、重いテーマはストレートに。しかし「暗い気持ちのまま帰らせない!」という仕掛けがいたるところにありました。アートにも本質を凝縮させる努力が必要なのですね。使命多様性の時代。幕末維新期、欧米列強の波が押し寄せる中、日本中の多くの人が日本の将来を想って考え、働きかけたように、今まさに日本中の人が力を発揮しなくては立ち行かない状態にあるのかもしれない。プラスのエネルギーを出し合って螺旋状に上昇させてゆくイメージでしょうか。人類一人ひとりが「ピースメーカー」であれば素敵です。



望みたいと思う。

10月14日リニア環境影響評価(アセスメント)の手法を記した住民説明が大鹿村で行われました。大鹿村内で大規模な工事が予測されるということから村民はこれまでJR東海に説明を求めてきましたが、行われることはなく今回の説明会も国が認可した事業ということでゼロオプショ(工事着工が大前提)の説明会でした。質疑ではエネルギー問題、水源、自然や生活環境の懸念が多く出され村民の怒りがぶつけられた印象でした。質疑応答時間は約45分超過し、意見がある人は居残って幹部に伝えるといった白熱ぶりでした。JR東海が提出したアセスメントの内容も不十分な点が多く、大鹿村住民の不安は解消されぬまま次回の説明会は2年後の準備書の段階までありません。生活の保障はお金で解決をするといった都会的方法論は田舎では通用しません。日本で最も美しい村と称される大鹿村のアイデンティティーは何なのか熟慮したうえで対応を

